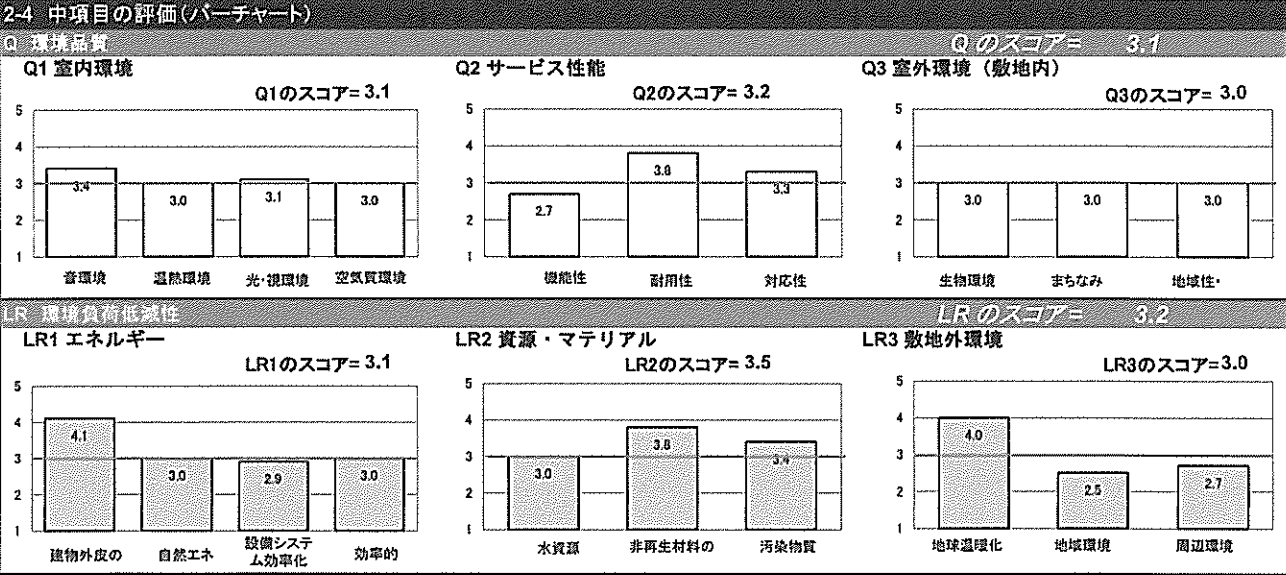
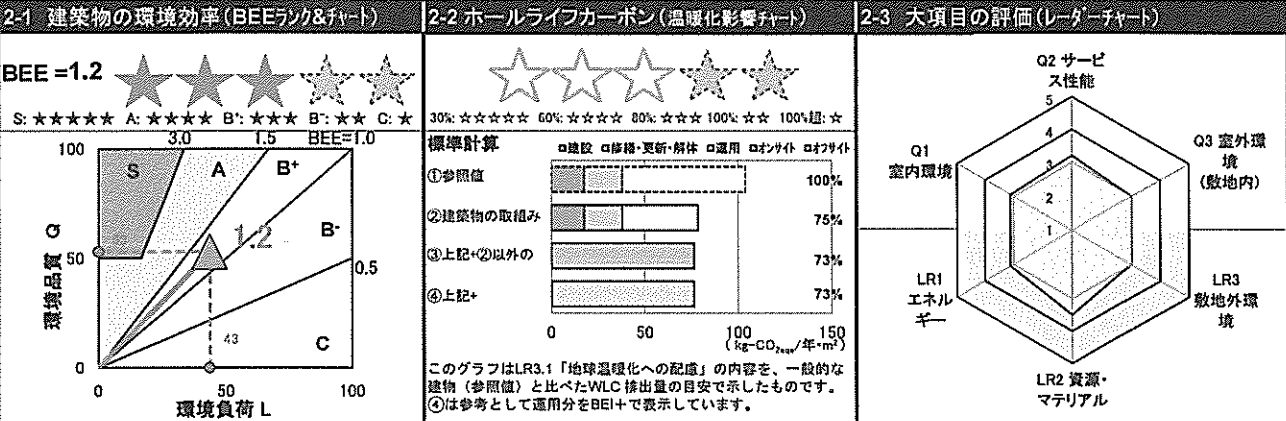
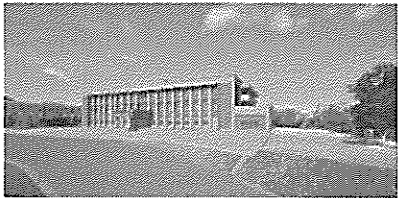


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 I使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	舞鶴(7)庁舎新設建築その他工事	階数	地下2F、地上3F
建設地	京都府舞鶴市	構造	RC造
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年3月 予定	評価の実施日	2025年12月12日
敷地面積	186,968 m ²	作成者	古井 守
建築面積	2,338 m ²	確認日	2025年12月22日
延床面積	9,765 m ²	確認者	柏井 恭平



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
耐震性、高耐久、更新性に配慮し、常時機能維持できることを目標とした		外観は地域特有の歴史的建造物にならない計画
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
窓の遮音性、断熱性の確保	耐震性を基準の1.5倍以上確保	建物廻り可能な限り緑化
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
太陽光発電の設置等、創エネ設備を採用	積極的なリサイクル品の採用	特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される